

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

いざに備える防災意識

問防災課
(内287)

子どもたちの夏休みも、すでに折り返し地点を過ぎ、一学期が近づいてきました。9月1日は「防災の日」です。いざというときに何をしたらよいか、夏休みの期間中に「家族そろって防災について話し合ってみてはどうかか」。

個人そして地域での防災

大地震などの災害から身を守るには、個人・家庭・地域での防災意識が不可欠です。いざというとき、私たち一人ひとりが速やかに協力し合える環境づくりこそ、一刻をあらそう人命救助に大きく役立つものです。大地震の発生直後は、同時多発的に建物の倒壊や火災の発生、さらに道路の分断や水道・消火設備の損壊などが予測されます。こうした現場すべてに消防や警察が駆けつけることは困難です。そこで求められるのが、「自らの地域を自ら守る」という心構えと組織力です。

家庭での防災会議

月に1回程度、家族で災害から身を守る方法を話し合う「家庭防災会議」を行いましょ。①各自の役割分担 家族一人ひとりが何を受け持つか決めておきましょう。②家屋の危険部分対策 家の内外をチェックして危険な部分を確認し、修繕等をおきましょう。③家の中の安全空間を確保 家具の安全な配置換えや、家

表1 非常持出品の一例

- ◎避難時
 - ・貴重品…現金、預金通帳、免許証、健康保険証など
 - ・携帯ラジオ…予備電池も
 - ・照明用具…懐中電灯、ろうそくなど
 - ・衣類…下着、上着、タオル、紙おむつなど
 - ・応急医薬品…包帯、きず薬、胃腸薬、鎮痛剤、ばんそうこうなど※病人や高齢者の常用薬を忘れずに
 - ・非常食品…乾パン、缶詰など火を通さなくて食べられるもの、ミネラルウォーターなど※3日分の用意を
- ◎避難後、災害復旧まで
 - ・食料…缶詰やレトルトのご飯やおかず、菓子類など※高齢者や病人、乳幼児などの食べ物を忘れずに
 - ・飲料水…一人あたり1日3ℓをゆめやすに
 - ・燃料…卓上こんろなど

災害時に自販機が活躍

自動販売機上に設置したメッセージボードが、災害時に被害状況や避難場所情報などを表示する「防災情報提供システム」が7月26日から市内3カ所に設置されました。このシステムは、本市と富士コカ・コーラボトリング株との提携によって設置されたもので、現在は北部公園(国分北)、小田急線海老名駅構内、総合体育館(社家)の3カ所にあります。いざというときには、余震等の注意呼びかけ・避難所への物資搬入情報・避難勧告等いろいろな災害関連情報を表示します。正確な情報を一斉に送信可能なので、災害時に予想される間違った情報などによる混乱を避けることができます。平常時には「時事通信ニュース速報」が表示され、将来はイベント情報など市からのお知らせも表示していく予定です。



普段はニュースが表示されます

図1 避難所位置図

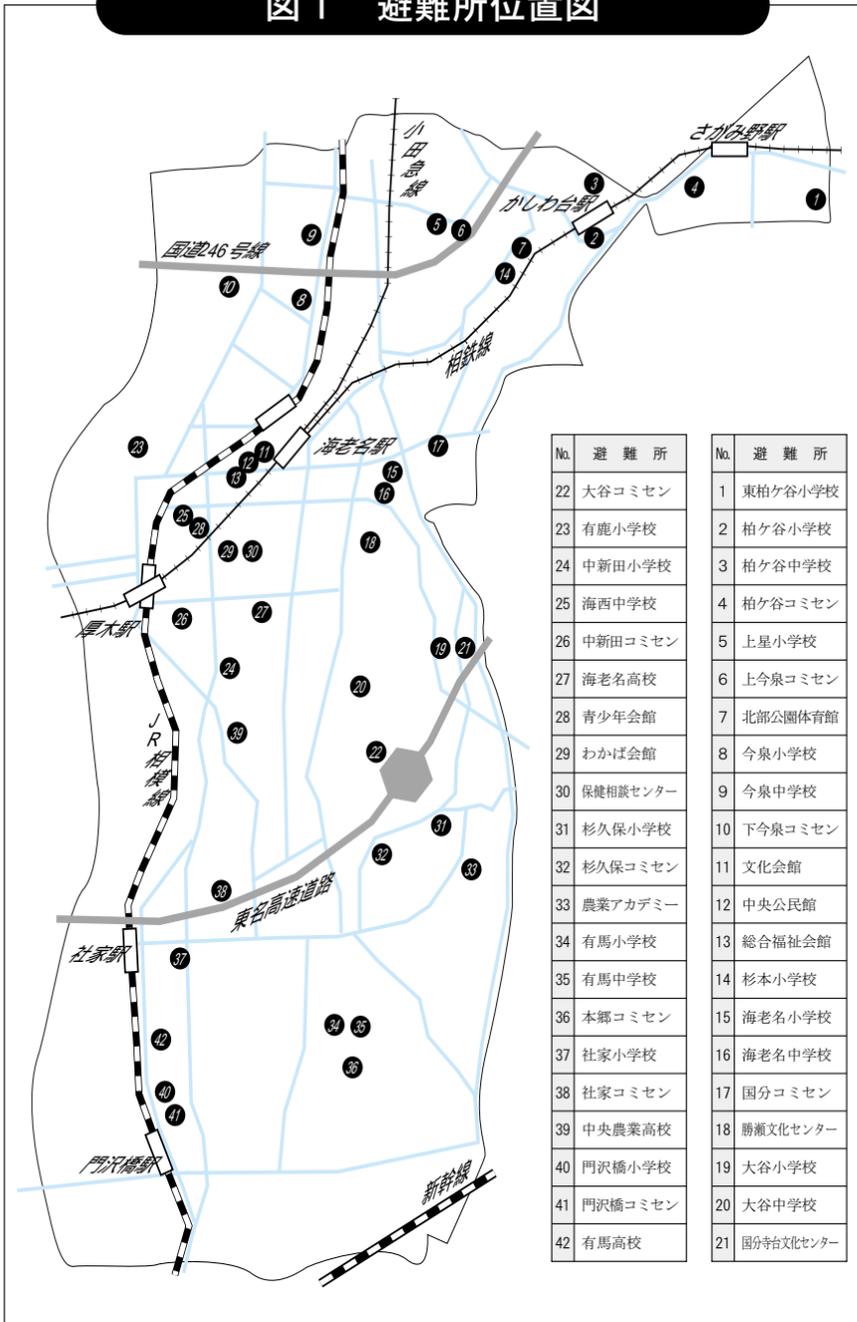
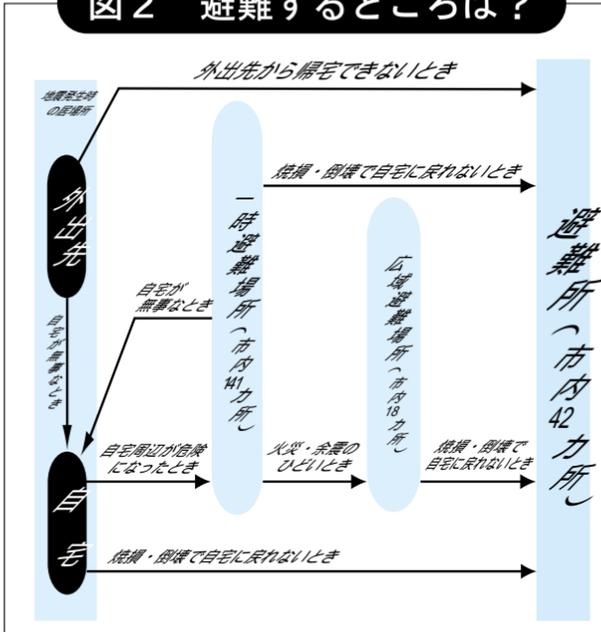


図2 避難するところは？



9月1日に総合防災訓練実施

市では、平成14年度総合防災訓練を、9月1日(日)午前9時から正午まで今泉小学校で実施します。今年の対象地区は、下今泉・下今泉スカイハイツ・小中学校やコミセン等、市内に42カ所あります(図1参照)。また、一時的に集合する「一時避難場所(14カ所)」や、火災や余震が激しく地域全体の危険が収まらないときに避難する「広域避難場所(18カ所)」があります(それぞれの利用については図2を参照してください)。できれば休日などを利用し、下見をしておけば安心です。

防災無線でサイレン吹鳴

訓練当日の午前9時に、対象区域の下今泉・上郷全域でサイレンを鳴らしますので、火災と間違えないようご注意ください。